

施策分析シート（令和7年度）

No1

施策名	快適な生活道路の整備	施策No	08-03	部課名	防災都市づくり部土木管理課
関連部課名	防災都市づくり部基盤整備課、建築指導課				
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市	課長名	大木 内線 2710
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成		

目的 区民に最も身近な都市施設である道路を誰もが安全に、かつ、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理を行うとともに、拡幅・改修等を行う。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		4年度	5年度	6年度	
①	周辺環境の快適さ	3.13	3.08	3.07	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
②	防災性	2.29	2.35	2.26	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？
③	安全・安心の実感	2.74	2.75	2.70	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
①	陳情件数(件)	1,011	977	875	860	860	平成18年度件数(2,129件)の縮減(道路・街路灯等)
②	細街路後退用地整備率(%)	48	49	50	51	52	整備延長/整備対象道路延長両側(自主整備含む)
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			差額	行政収入	勘定科目			差額
	5年度	6年度	5年度			6年度			
行政費用	給与関係費	188,930	173,666	▲ 15,264	地方税等	0	0	0	
	物件費	214,175	269,664	55,489	国庫支出金	9,626	5,281	▲ 4,345	
	維持補修費	315,801	369,982	54,181	都支支出金	6,659	10,776	4,117	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	3,337	3,337	
	補助費等	29,523	36,611	7,088	使用料及び手数料	883,461	880,265	▲ 3,196	
	減価償却費	145,655	146,091	436	その他	110,092	98,339	▲ 11,753	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,009,838	997,998	▲ 11,840	
	賞与・退職給与引当金繰入額	31,540	29,033	▲ 2,507	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 331,786	▲ 408,571	▲ 76,785	
	その他行政費用	416,000	381,522	▲ 34,478	金融収支差額(d)	▲ 686	▲ 627	59	
	行政費用合計(b)	1,341,624	1,406,569	64,945	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 332,472	▲ 409,198	▲ 76,726	
特別費用(g)	396	2	▲ 394	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 396	▲ 2	394	当期収支差額(e)+(h)	▲ 332,868	▲ 409,200	▲ 76,332		

貸借対照表	勘定科目			差額	勘定科目			差額
	5年度	6年度	5年度		6年度			
流動資産	収入未済	2	0	▲ 2	流動負債	17,180	16,033	▲ 1,147
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	6,454	6,514	60
固定資産	有形固定資産	191,395,630	191,885,990	490,360	賞与引当金	10,726	9,519	▲ 1,207
	土地	177,032,526	177,385,065	352,539	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	190,934	172,887	▲ 18,047
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	63,649	57,135	▲ 6,514
	工作物等	17,498,547	17,782,460	283,913	退職給与引当金	127,285	115,752	▲ 11,533
	工作物等減価償却累計額	▲ 3,135,443	▲ 3,281,535	▲ 146,092	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	208,114	188,920	▲ 19,194
建設仮勘定	157,886	281,882	123,996	正味財産	191,346,616	191,980,164	633,548	
その他の固定資産	1,212	1,212	0	正味財産の部合計	191,346,616	191,980,164	633,548	
資産の部合計	191,554,730	192,169,084	614,354	負債及び正味財産の部合計	191,554,730	192,169,084	614,354	

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用の物件費は、街路樹やグリーンベルトの管理、道路清掃等に係る委託料であり、令和6年度は道路ストック総点検や緊急の路面下空洞調査を実施したため増加した。
- 行政費用の維持補修費は、主に道路改修費や道路応急工事費であり、令和6年度は第二峡田小学校北側区道の道路整備工事を実施したため増加した。
- 行政費用のその他行政費用は、主に私道における細街路拡幅工事や補修工事等である。
- 行政収入の使用料及び手数料は、主に電柱等の道路占用料である。その他は、占用工事道路復旧費である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○令和6年度の道路ストック総点検の中で、路面性状調査（ひび割れ、わだち掘れ、凸凹確認等）、道路附属物調査（ペDESTリアンデッキ、大型カルバート）を実施した。</p> <p>○令和4年度に路面下空洞調査を実施し、発見した空洞箇所については、占用企業者と連携し、順次補修を行っている。</p> <p>○令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、下水道幹線が埋設されている路線の路面下空洞調査を緊急実施した。</p> <p>○紅葉坂こ線人道橋については、令和2年度と3年度にエレベーター及びエスカレーターの設置に向けた調査、検討を行った結果、接続する地上部の道路線形の大幅な見直しが必要なこと、地下埋設物が支障となるなど、多くの課題が判明した。</p> <p>○下御隠殿坂跨線道路橋と第二日暮里跨線橋は、5年に1度の法定点検を実施している。予防保全を講ずる段階との判定が出ており、機能維持のために対策を講じていく必要がある。</p> <p>○バリアフリー基本構想及び重点整備地区の基本構想等に基づき、道路のバリアフリー化に取り組んでいる。</p>
課題	<p>○道路ストック総点検の結果、ひび割れやわだち掘れなどにより危険度の高い箇所については既に改修が完了しているが、道路を良好な状態に維持するため、引き続き、不良箇所の早期発見に努めていく必要がある。</p> <p>○路面下の空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がる可能性があるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念されるため、路面下空洞調査の結果に基づき、空洞箇所の改修を進める必要がある。</p> <p>○紅葉坂こ線人道橋へのエレベーター及びエスカレーターの設置は、地上部へ接続する階段の一部撤去、下御隠殿橋への斜路の一部の通行止めなどの動線への多大な影響や地下埋設物の大規模な移設工事が必要となるなどの課題がある。また、駅前広場も含めた規模で道路線形を見直す必要がある。</p> <p>○鉄道の営業線を跨ぐ紅葉橋こ線橋の補修工事は、莫大な経費と工事期間が必要となることから、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的に補修を実施していく必要がある。</p> <p>○バリアフリー化が完了していない箇所や安全な通行に支障がある路線等については、計画的に改修を進めていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○道路ストック総点検については基本的に、5年毎に実施し、損傷状況に応じて優先順位を付け、補修を行っていく。</p> <p>○路面下空洞調査については、路面下空洞調査要領（国土交通省道路局）により、点検頻度を路線毎に周辺施設や地下構造物の種類等により設定し、計画的に実施する。</p> <p>○紅葉坂こ線人道橋へのエレベーターとエスカレーターの設置については、財源の確保に向けた調査のほか、占用物の移設方法や動線への影響を抑える工法の検討を進める。また、第六建設事務所、道路占用企業者、鉄道事業者との協議も引き続き進める。令和7年度には、橋梁の健全度を把握するため橋梁点検を実施し、今後の補修・補強に向けて検討を進める。</p> <p>○令和7年度に第二日暮里跨線道路橋、下御隠殿橋の点検を行い、今後の補修・補強に向けて検討を進める。</p> <p>○バリアフリーに対応した歩行空間を整備するため、段差解消や歩道のセミフラット化などを無電柱化に併せて進めていく。また、街路樹の根上がりにより危険な箇所については、計画的に改修を行っていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
7年度	8年度	
推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		5年度	6年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
道路占用等事務	11-03-01	22,408	30,720	813	4,413	継続	継続	道路及び公園を適正な状態で管理する上で必要な事業であるため、継続して実施する。
道路管理システム運営	11-03-03	7,506	7,485	2,642	3,029	継続	継続	道路管理事務や占用企業の申請処理業務など、事務の効率化に必要な事業であるため、継続して実施する。
占用工事道路復旧事業	11-03-04	56,669	58,091	38,956	54,059	推進	推進	占用工事に伴う工事調整や復旧整備は、道路の良好な維持管理に不可欠な事業であるため、推進する。
道路管理事務	11-03-05	88,359	93,513	36,318	37,497	推進	推進	道路を適正に管理するために必要な事業であり、推進する。
道路ストック総点検事業	11-04-03	27,920	60,943	24,515	55,002	推進	推進	定期的に点検を実施することにより、道路利用者及び第三者への被害防止のための事業であるため、推進する。
道路清掃事業	11-04-04	67,347	76,471	57,339	67,316	継続	継続	道路を安全で快適な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路維持事業	11-04-05	254,401	257,374	95,301	96,845	継続	継続	道路の機能を常に良好な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路損傷復旧事業	11-04-06	2,432	1,485	0	0	継続	継続	道路附属物等の損傷に対応する手段の一つとして必要な事業であるため、継続して実施する。
道路応急工事事業	11-04-07	90,596	94,040	82,431	87,109	継続	継続	道路を常に良好な状態に保つため、緊急に対応する工事は不可欠な事業であるため、継続して実施する。
街路樹等管理事業	11-04-09	88,573	104,673	79,853	97,661	推進	推進	都市景観の形成や環境問題、更には災害時の減災の観点から、街路樹等を適正に維持管理する事業であるため、推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		5年度	6年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
道路改修事業	11-04-10	243,151	177,538	340,270	292,831	継続	継続	安全かつ安心して通行できる道路となるよう計画的な改修が必要な事業であるため、継続して実施する。
紅葉坂跨線人道橋整備事業	11-04-14	1,746	13,611	—	9,693	重点的に推進	重点的に推進	当該跨線人道橋はJRや京成の線路を跨いでおり、健全な状態を維持していくことが必要な事業であるため、重点的に推進する。
私道整備事業	11-04-19	47,554	47,680	42,204	41,739	継続	継続	公道を補完する機能を有する私道についても、公道に準じた整備を行う必要がある事業であるため、継続して実施する。
細街路拡幅整備事業（工事）	11-04-20	285,825	336,635	491,092	580,163	重点的に推進	重点的に推進	防災性の向上や居住環境の改善を図る上で、細街路の拡幅は重要な事業であるため、重点的に推進する。
細街路拡幅整備事業（助成）	11-05-01	57,137	46,307	28,179	25,714	重点的に推進	重点的に推進	密集地域の防災性の向上及び住環境改善を図る事業であるため、重点的に推進する。
合計		1,341,624	1,406,566	1,319,913	1,453,071			